



Rotary International District2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日17:30
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話0742-33-8583
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話0742-26-3300(代)
 ■会長：楠原忠夫 ■副会長：潮田悦男 幹事：橋本和典

発行日 / 2012年 10月21日
2012-2013/15

Vol.34

No. 1621

hp: <http://naraomiya-rc.jp>
 E-mail: info@naraomiya-rc.jp
 2012-13年度当クラブテーマ

『活力あるクラブ作り』



国際ロータリー第2650地区
 ガバナー 河本 英典
Bridge the Gaps



四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

本日のお客様

- 中野 重宏 様 (奈良RC) (RI第2650地区パストガバナー)
- 吉岡 孝夫 様 (奈良RC)

会長報告

本日は、今月の予定を皆さんに案内したいと思います。

10月30日は臨時総会を開催いたします。議案は次々年度会長候補及び次年度副会長及び幹事、会計及び他理事候補者の選ぶ方法について審議したいと思いますので、会員の皆様方の出席を宜しくお願い致します。

10月30日は今西ガバナー補佐によるクラブ協議会を行います。これはガバナー訪問時の協議会の予行演習とさせていただきます。

11月6日にはいよいよ河本ガバナー訪問によるクラブ協議会です。何れも各委員長様方、出席宜しくお願い致します。もしご都合の悪い場合は副委員長様にご連絡宜しくお願い致します。その変更がありましたら、橋本幹事にもその旨必ず連絡お願い致します。

10月21日(日)は移動例会で職場訪問で、23日の例会の繰り下げとなりますので、当ホテルでは例会はありませんので、お間違えのないようにお願いします。

委員会報告

職業奉仕委員会：大塩委員長

今度の日曜日、21日は職場見学になります。服装のお問い合わせがあったそうですが、通常の例会同様ネクタイ着用でお願いします。朝8時集合出発になりますので、時間厳守で宜しくお願いします。

例会プログラム

第16回 10月21日
通算1621回

1. 開会の点鐘
2. ソング
「奉仕の理想」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 閉会の点鐘

例会状況報告

第15回 10月16日
通算1620回

◎会員数	72名
◎出席規定免除者数	24名
◎出席義務者数	48名
◎欠席者	13名
◎出席者	45名
◎出席率	77.59%

第13回 10月2日
通算1618回の修正

◎会員数	72名
◎出席規定免除者数	24名
◎出席義務者数	48名
◎欠席者	9名
◎補填者	6+1名
◎出席者	60名
◎出席率	95.24%

幹事報告

●昨日、FAXで皆さんの所に届いたかと思いますが、生駒ロータリークラブが今年度の新企画、オープン卓話というのをされます。一般の方も皆参加して、卓話形式でされるとの事です。連絡がきましたのが遅かったので、実は開催されるのが明後日ということで、昨日至急FAXさせて頂いたのですが、先着20名で前もってのお申し入れということになりますので、ちょっと時間的に無理があるかも知れませんが、興味のある方は是非ご参加下さい。

●橿原ロータリークラブより例会変更のお知らせ。10月26日を10月28日IMの日に変更されます。ビジター受付は10月26日(金)12:00-12:30橿原ロイヤルホテルフロント横にて行います。

●その28日はIMです。橿原ロータリークラブさんが主催されます。一般会員の登録受付は12:00-12:50、開会は13:00~です。場所は同じく橿原ロイヤルホテルで行われます。当日午前10:00より新会員セミナーが同じホテルで行われます。うちのクラブからは会長、麴谷R情報委員長、対象新会員7名中4名の方が出席されます。IM全体の出席者45名、懇親会出席者は32名の予定でございます。

●先ほど会長からもお話がありましたが、10月30日に今西ガバナー補佐によるクラブアッセンブリー、クラブ協議会が有ります。上着、ネクタイ着用をお願いします。11月6日のガバナー公式訪問の予行演習として行われます。例会終了後、少し時間延長するかと思いますが、宜しくご協力下さいませ。今西ガバナー補佐は、そのアッセンブリーに於きまして、委員長さんが概況報告書の単なる棒読みではダメだと、このようにおっしゃっておりますので、どうぞ皆様、クラブ運営上の問題点であるとか、或いはガバナー補佐に質問事項があるような場合、それをガバナー補佐にご指導頂く、というようにして頂きたいと思っております。

●本番の11月6日のガバナー訪問ですが、今日状差しに入れさせて頂いておりますが、当日の流れ、地区からのお願いの案内をしております。是非公式訪問までに一読して頂きますようお願い致します。また、当日記念撮影を行いますので、一般会員の方は、17:15までに奈良ホテル玄関前にご集合ください。時間も迫りますので、SAAの誘導に基づいて、スムーズに行われるようお願いいたします。地区委員の方は、河本ガバナーが会長幹事懇談会終了後挨拶をしたい、とのことですので、17:00過ぎ(17:15頃)までには会場にお越し頂きたいと思っております。当日またこれも、必ず上着、ネクタイ着用をお願い致します。(入会后)三年未満の方は出席義務者となりますので、必ず出席頂きますようお願い致します。

●中條会員が、先週の金曜日、肘の手術をされ、現在入院中です。木曜日に会長と植村親睦委員長でお見舞に行ってください。病院は大森町の稲田病院です。今週中には退院されるかも知れませんが、お見舞に行かれる方は、よろしくお祈りいたします。

10月お誕生日・結婚記念日

★お誕生日★

4日 野崎隆男 君
8日 福本良平 君

★結婚記念日★

4日 富川 悟 君
17日 箸尾文雄 君
22日 金星 昇 君
25日 井上正行 君
28日 野崎隆男 君
28日 森 一紀 君



「種の世界について」

本日は我々の業界、タネの話をしていただきます。野菜というものは様々な料理に使われておりますが、必ず食事の脇役です。決して主役にはなれない、悲しい運命を持っております。しかし、例えばアルギンZという健康飲料があります。アルギンZはアルギニン酸というアミノ酸が含まれており、これは老化防止に非常に必要なものらしいです。体内でも作られるのですが、その他は野菜ぐらいからしかとれません。きゅうり、ごま、落花生、などからしかとれないと聞いております。野菜は脇役ながらも人間が育っていく上で重要なものであり、それを作っていると自負しながら、



我々の業界は懸命に品種改良し、世に送り出しております。業界は非常に小さく、日本のマーケットの卸で申し上げますと、野菜の種子だけで700億くらい、小売りで1200億くらいです。大手では京都のタキイ種苗、横浜のサカタのタネという会社があります。それでは種子、特に野菜の種子につきまして、ご説明してまいります。タネといいますのは工業製品と違ひまして、中の遺伝子の問題で、どういふものができるかわからないものです。例えばスイカのタネ、スイカのタネは誰が見てもわかります。ところがその中の遺伝子は外から見てわかりません。そのタネからできるものが、赤い果肉なのか黄色なのか、小玉なのか大玉なのかなど様々な因子を持っており、外観では全くわかりません。ですから取り扱いが非常に難しく、原種は元のタネをいいますが、品種改良している原種をきっちり管理しないと、我々でも全くわからなくなってしまう。もともとの野生種は、タネがはじけて地面に落ちましても一斉に発芽は絶対にしません。大雨、火事などの天災があると、一斉に発芽した場合、タネがそこで途絶えてしまいます。途絶えさせないために、本能的にばらばらに発芽するようになっていふのが、本来の野生の種子の性質です。ただ人間が栽培します時、ばらばらに発芽されると効率的ではありませんので、人為的に一斉にタネから芽が出るようにしてきました。動物の場合、人間が利用するのに有益なものとして家畜といわれますが、野菜の場合は家菜（かさい）です。例えば昔の大根は、ゴボウのようなもので原産は中央アジアですが、食べるのに適していませんでした。スイカもアフリカ原産で、砂漠の中で水分補給に使われるためだけで、苦く食べられたものではない、単なる水分が蓄積されているという品種でした。その遺伝因子を使い、我々がずっと品種改良して今のものになりました。タネといいますのは、人間にとりまして大切な遺伝情報を詰め込んだタイムカプセル、そのような位置づけで我々は考えております。キャベツを例にしますと、今のキャベツは結球、葉がまいて球状になります。ところが昔はケールといひまして、葉っぱだけのものでした。今のキャベツにするために、つまり花を咲かせ、タネを採るために人間が切れ目を入れます。このように人工的に品種改良をしてきました。野菜のタネは、何千年も前から人間が手を加え、有益な遺伝情報を守り続けてきた人類の財産です。日本も古い歴史を持ってありますが、日本古来の野菜は、みつば、うど、セリなどくらいで、他はすべて古代から近代にかけて外国から入ってきたもの、シルクロードを通ったりして伝わってきたものです。では、新しい品種をどうやって作るかという順序を説明いたします。まず育種、これは品種改良のことです。品種改良は非常に時間がかかります。車に例えますとハイブリッドです。ガソリンエンジンと電気をミックスして走るものですが、我々は交配種をF1（エフワン）ハイブリッドといひます。雑種矯正といひまして、いいところばかりを持った遺伝子が優先的に出てくる特性を利用して、植物のF1品種ができております。現在、野菜の品種で、たまたまできた優良なタネを残しておいて撒く、遺伝子が固定しているので翌年も同じものができる、といった固定種はほとんどありません。地方の野菜や伝統野菜がクローズアップされており、そのようなものは固定種ですが、大量に出回っていますものは、すべてF1ハイブリッドの品種です。様々なタイプの元の固定種、元種を作り、たくさん持っている程、様々なF1ができてきます。我々は、最初にこういうものを作りたいという目標を立てます。目標を立てる際は、出来上がるのに10年ぐらいかかりますので、10年先の嗜好を予測しなければならない、というリスクがあります。ですから私共は、毎年新しい目標に向かってスタートし、リスク分散しながら様々な品種を作り出しております。それが品種改良すなわち育種です。次は採種です。採種は種子を増殖させることです。日本は高温多湿のモンスーン気候で、夏は暑く湿度も高い、冬は寒い、野菜の種子の栽培には非常に不向きです。そこで採種は世界中で一番適地のところへ原種を持っていき、その地でおこないます。雨がほとんど降らない所、そこでは病気が発生しませんので採種がしやすい、また人件費が非常に安い所、生産の最新技術を持っている所

などを採し、世界中で生産しております。次に採種したものを本当に商品として出荷できるか、という品質管理があります。実際に種をまいて調べる方法を昔はしていましたが、今はDNAの配列で純度、間違いなくその品種という検査をおこないます。検査が終わりましたものを販売、市場に出すわけですが、その前に試作といまして、既に栽培されておられるところに依頼し、今栽培されている品種よりも優位性があることを実証しなければならず、2年ほどかかります。結局トータルすると10年ではできず、非常に地味な仕事ですが90数年やっております。品種改良には様々な手法があり、毎年200から300の品種を作りますが、それほど作っても本当にいいものは、あるかないかです。私共は野菜の種子の新しいものを作りながら、日本の、人間の食を豊かにすること、また食の安定供給ということを重要な使命と考えております。また次代を担う子供たちに食育活動を啓蒙運動として行っております。



ニコニコ箱

本日計 26,000円 累計 964,000円

- 楠原忠夫 君 吉田様 本日の卓話宜しくお祈いします。
- 橋本和典 君 あさって18日(木)ミクちゃんの幼稚園の敬老の日パーティーにおよばれ
します。もう何の抵抗もありませんジィジとバァバでも。「48才の抵抗」
(古いなあ 若い衆には分らんかな?)は昔の事となりました。
- 福本良平 君 誕生祝いありがとうございます。吉田社長 本日の卓話よろしくお祈い致
します。
- 野崎隆男 君 誕生日と結婚記念日のダブルプレゼントありがとうございます。
- 森 一紀 君 結婚記念日を祝って頂いてありがとうございます。
- 倉田智史 君 ニコニコ協力
- 増井義久 君 ニコニコ協力
- 辻本和弘 君 ニコニコ協力
- 藤井正勝 君 ニコニコ協力

例会変更のお知らせ

11月

- あすかロータリークラブ■
 - ・11月1日(木)・・・夜間例会の為。
 - 時間：19：00より
 - 場所：榎原ロイヤルホテル
 - ※ビジター受付は11月1日(木)12：00～12：30
榎原ロイヤルホテルフロント横にて行います。
- 平城京ロータリークラブ■
 - ・11月1日(木)・・・定款第6条第1節(C)により、休会。
 - ※ビジター受付は行いません。

次週の例会

平成24年10月30日(火)
クラブ協議会3(臨時総会)